

日本ホメオパシーソリューション・東京セミナー

「介護とホメオパシー」

～人を見る、自分を観る～

HOMEOPATHY

介護の現場は、介護をする方、もちろんされる方にとっても、とても大変な状況です。

そのような実際の介護の中で、どのように取り組めば、そこに携わる方々の思いをより充実した内容にしていくことができるのでしょうか。様々な問題を抱え、苦しみをともなう困難な状況だからこそ、本質的な取り組みがとても大切になります。

人は自分の観察をもとに判断し、行動します。それゆえ、ものの見方が変われば判断も行動も変わってくるといえます。

まず、何が起きているのか、これをきちんと“見る”ことから始めていかなければ、困難な状況の中でできうるであろう事も、なかなか思うようにはいきません。

“人を見る”そして“自分を観る”ということはホメオパシーの根本にもつながるテーマです。

今回のセミナーでは「介護」という場面で必要とされる「もののみかた」について考えてみたいと思います。

ふだん焦点の当てられがちな「介護される側」だけではなく、「介護する側」にもスポットを当ててみたいと思います。

まず、ものの見方において主観と客観を意識することからはじめ、フロイトやユングを参考にした心理の理解について、とくに私たちがしてしまいがちなコンプレックスに絡んだプロセスを考察します。

そして“受容”するという言葉の、本質的な意味について、そしてそれを妨げている様々なことに触れながら、実践することの難しさについて、おもに「介護とホメオパシー」を通じてお話いたします。

2010年7月24日（土）

13:00～13:30 受付

13:30～16:30 「介護とホメオパシー」

講師：井上喜子（日本ホメオパシーソリューション講師）

参加費：3000円

会場：国際文化会館

